

01

組合からの 報告

第59期通常総会

5月28日(金)

協同組合の第59期通常総会が、スイスホテル南海大阪(大阪市中央区難波)「浪華の間」で開催された。

総会では令和2年度事業報告及び決算関連報告の後、令和3年度事業計画案及び収支予算案などがそれぞれ原案どおり可決承認されたほか、任期満了に伴う役員改選では、中畑安伴理事長の退任(相談役理事に就任)に伴い、第13代理事長に堀川昇氏(前副理事長)が就任した。



■就任のご挨拶(堀川理事長)

◎新理事長就任のご挨拶「堀川 昇」

このたび、大阪木材工場団地協同組合第59期通常総会において第13代理事長に選任されました堀川昇でございます。

伝統ある当協同組合の代表理事という職務の重さに身の引き締まる思いではありますが、拝命したからには精一杯の努力をする所存でございますので、組合員をはじめ組合役職員の皆様方のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

さて、新理事長としての当面の重要課題は、中畑前理事長から引き継ぎを受けた工場団地内の残された課題である「調整池の取扱い検討」と、隣接する共同倉庫跡地における「敷地周辺整備と有効活用策等の検討」と捉えております。

これに加えまして、本年度は協同組合設立60周年の期間に入る記念の年を迎えるなか、新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きが見通せない状況下ではありますが、適切な対策等を行いながら、各種記念事業の企画等を鋭意検討の上、遂行してまいりたいと考えておりますので、組合員の皆様方にはぜひとも積極的なご参加をお願いいたします。

また、木材加工メーカー47社が中心となって設立された当協同組合も、現在では木材関連以外の企業が多く進出され、組合員企業も多様化してまいりましたが、その異業種の組合員企業のなかで初めての理事長とはなりますが、「組合員同士の強い絆」「災害に強い木材団地」「健全な財務体制」を柱に、「強いものが生き残ったのではなく、環境に敏感に反応し変化できたものが現存する」という「生成発展」と「宇宙の原理」を大切に、組合運営にあたる所存でございますので、今後も皆様方のご支援を頂戴することを願ひまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

終わりに、中畑安伴前理事長には、4年間にわたり数多く残されたご功績に対し感謝と敬意の意を表し、今後ますますのご健勝を心よりお祈り申し上げます。

◎前理事長退任のご挨拶「中畑 安伴」

このたび、理事長を退任するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

平成29年5月に、伝統ある当協同組合の第12代理事長職を拝命して以来、組合員ならびに関係各位の皆様には格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

就任以来の4年間を顧みますと、浦本前理事長からバトンを受け最重要課題としておりました「現有共同倉庫解体撤去工事とその周辺敷地整備」につきましては、旧共同倉庫の解体撤去工事を完工し、また、調整池につきましても長年の課題としておりました同池に存する取水権の抹消手続きが関係各所にご理解をいただき完了することができましたことは大きな出来事でした。これにより工場団地内の残されたインフラ整備の課題解決の足掛かりになると大いに期待をしております。

また、昨年より検討を重ねて参りました「2021中期ビジョン」を策定し、設立から草創期、発展期の目的は達した設立60周年を迎える成熟した工場団地が、今後起りうる未曾有の大きな変化に対応できるよう、協同組合の存在意義と継承すべき強みは何かを再確認し文字に残せたことは意義のあることだと感じております。

今後は、堀川新理事長のもと新体制となる事務局共々、優れた行動力と手腕を発揮していただき、組合員との絆を大切に、皆様に必要とされる協同組合として健全なる運営を継続していただきたいと願っております。

終わりに、創立60周年を機に協同組合が更なる付加価値の高い工場団地として発展すること、また、組合員企業並びに工場団地内企業、関係各所の皆様方のご健勝とご隆盛を祈念いたしまして、退任のご挨拶に代えさせていただきます。



■退任のご挨拶(中畑前理事長)